

令和3年7月15日

## 千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）

### 1 策定の趣旨

平成30年1月に千葉県教育委員会において、これからの時代にふさわしい県立図書館の指針として「千葉県立図書館基本構想」を策定し、これを踏まえ県立図書館では、光り輝く「教育立県ちば」の実現と「読書県ちば」の飛躍に向けて大きく寄与するとともに、県民の皆様の期待により一層応えることのできる図書館となるよう取り組むため、「千葉県立図書館運営方針」（以下「運営方針」という。）を定めました。

この運営方針に基づき「千葉県立図書館行動計画」（以下「計画」という。）を策定しており、平成30年度から令和2年度までの計画期間が終了したことから、令和3年度から5年度の計画を策定したところです。

今期計画については、運営方針に変更がないため、大枠は前期計画を継承するものとしていますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい項目については、評価指標の見直しや追加を行い、感染症の状況に関わらず各項目の評価を行えるようにしています。

今後3年間に特に重点的に取り組むべき項目を設定し、目標達成に取り組むとともに、達成状況の自己点検及び第三者評価を行い、図書館サービスの向上に努めてまいります。

### 2 計画期間

令和3年度から5年度までの3年間

### 3 計画内容

運営方針に基づき、県立図書館の6つの役割・機能について次のとおり重点項目を設定し、それぞれについて主な取組と達成状況を測るための評価指標、目標値を設定します（別紙「千葉県立図書館行動計画（令和3～5年度）」について）。

役割・機能	重点項目
1 図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化
2 図書館職員の資質向上	(1) 図書館職員研修センター機能の強化
3 子どもの読書活動の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進 (2) 学校図書館への支援の強化

4 課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化
5 千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進
6 知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進 (2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実 (3) 情報発信機能の強化

# 千葉県立図書館行動計画(令和3~5年度)について

	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値	実績値	
			R3	R4	R5				
1	図書館ネットワークの発展	(1) 市町村立図書館等への支援の強化	【市町村立図書館等への貸出し、相談事業等の推進】 ・市町村立図書館等を通じた貸出しについて広報を進める。 ・毎年全市町村を訪問し、図書館の運営等についての調査相談を行うとともに、電話やメール等を通じた相談を随時行う。	▶	▶	▶	市町村立図書館等への貸出冊数	75,000	62,946
			【新館における物流体制の検討】 ・現状の課題等について市町村立図書館等に運営相談等を通じて聴取するとともに、全県でアンケートを実施し、新館整備に向けて検討を進める。	▷	▷	▶	市町村立図書館等の運営相談件数	120	108
			【県内最後の1冊保存体制の検討】 ・先行する図書館や団体等に個別調査を行う。 ・課題等について市町村立図書館等と情報交換を進め、県内の保存体制のモデル案を検討する。 ・市町村立図書館等が最後の1冊を確認できるよう今後の電算システムに盛り込む機能を検討する。	▷	▷	▶			
2	図書館職員研修センター機能の強化	(1) 図書館職員研修センター機能の強化	【経験別、分野別研修の実施】 ・研修結果の分析をし、研修プログラムの充実を図る。	▶	▶	▶	研修受講者の満足度	94.5%	94.5%
			【研修機会の拡充】 ・開催方法を検討し、遠隔開催や地域別開催を実施する。	▶	▶	▶			
			【研修内容のアーカイブ化】 ・国内の事例等について調査し、課題等の洗い出しを行う。	▷	▷	▷			
3	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	(1) 地域の子どもの読書環境整備の推進	【児童資料の研究支援の推進】 ・児童文学研究や子どもの読書に関する活動に役立つ資料を揃え、子どもと児童文化に関する情報を蓄積するとともに、調査研究活動を支援するツールを提供する。	▶	▶	▶	地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物	2	0
			【子育て支援情報サービスの推進】 ・子育てに資する図書等を収集するとともに、県関係機関と連携しながら子育て支援情報の発信を進める。	▶	▶	▶			
			【児童書の網羅的収集の検討】 ・市町村立図書館等が児童書を購入する際の参考となるような収集方法について、国内の先行事例等を参考に方法を検討する。	▷	▷	▷			
			【新しいサービスの研究開発】 ・図書館利用の困難な子どもや保護者について、実態把握に努め、利用支援方法を検討する。 ・ヤングアダルト(ティーンズ)サービスの全県でのサービス充実を目指す方策を検討する。 ・地域の子どもの読書活動の推進に資する刊行物を発行する。	▷	▷	▶			
	(2) 学校図書館への支援の強化	(2) 学校図書館への支援の強化	【県立学校等への貸出し、相談事業等の充実】 ・県立学校等の相互貸借について実態調査を進め、ニーズを把握するとともに、未登録校への広報活動を実施する。	▶	▶	▶	県立学校等への貸出冊数	31,000	18,841
			【学校貸出セットの充実】 ・貸出セットについて、内容の検討及び整備を推進する。 ・要望の多い貸出セットを調査、把握し必要性の高いものの重複購入を進める。	▶	▶	▶	学校貸出セットの新規整備・改訂数	10	8
			【生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等の実施】 ・生徒向け読み聞かせ講座、図書館活用講座等を実施する。	▶	▶	▶			
			【市町村立図書館等と小中学校との連携への支援】 ・市町村立図書館等と小中学校との連携状況を調査する。 ・小中学校支援モデル事業として貸出セットの作成を検討する。 ・図書館未設置市町村等が小中学校との連携を推進できるよう、資料の支援を行う。	▶	▶	▶			
			【特別支援学校への読書支援の充実】 ・学校訪問等でニーズと支援方法を探り、読書支援を継続、推進する。	▶	▶	▶			
			【探究学習支援への対応】 ・教科書単元・テーマ別資料リストについて、順次内容の追加・改訂を進めるとともに、市町村立図書館等を通じて周知を図る。 ・図書館を使った授業等についての情報発信を進める。 ・探究学習についての利用支援方法を検討する。	▶	▶	▶			

	重点項目	主な取組	スケジュール			評価指標	目標値	実績値 R2	
			R3	R4	R5				
4	課題解決支援図書館	(1) 課題解決支援、調査研究機能の強化	【課題解決支援サービスの充実】 ・法律情報支援サービス、医療情報支援サービス、シニア支援情報サービス等を推進する。 ・行政課題等の解決に資する資料を収集、提供する。	▶	▶	▶	パスファインダー及び「図書館から世界（ニュース）が見える」発行件数	15	15
			【レファレンス事例の一般公開】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供を進める。	▶	▶	▶			
			【県民向け講座の実施】 ・図書館活用講座、データベース活用講座等を実施する。	▶	▶	▶			
			【時事問題等に関する情報提供サービスの実施】 ・時事問題や地域の課題等に関する資料の紹介、ブックリストやリンク集等の作成、提供を行う。	▶	▶	▶			
			【電子書籍の導入の検討】 ・電子書籍について費用も含めた導入の検討を進める。	▷	▷	▷			
		【新館整備に向けた資料管理の検討】 ・引き続き重複図書、雑誌の除籍を進める。 ・各館で別々に所蔵している雑誌の書誌統合を進める。 ・電子書籍の収集等、新館を見越した資料の収集、整理方法について検討を進める。	▷	▷	▷				
5	千葉県に関する資料や情報の蓄積・継承	(1) 千葉県関係資料の計画的な収集整備、保存及び情報発信の推進	【千葉県関係資料の網羅的収集】 ・官公庁や関係部署へ情報収集をし、寄贈資料の収集に努める。また、インターネットでの提供に移行した資料についても、漏れのないように収集する。 ・インターネットや新聞記事等で出版情報を幅広く集め受入に繋げる。	▷	▷	▷	千葉県に関する情報発信件数	40	39
			【千葉県関係の情報検索ツールの充実】 ・国立国会図書館レファレンス協同データベースへのデータ提供や新聞雑誌記事索引、人名索引、デジタルアーカイブ、パスファインダー、テーマ別リスト、目次情報など、千葉県関係の情報に到達しやすい環境を整備する。	▶	▶	▶			
			【千葉県資料のデジタル化】 ・地図や郷土誌、県が編集発行した行政資料など計画的にデジタル化を進める。	▶	▶	▶			
			【インターネット上の地域行政資料の動向等調査】 ・オープンデジタル資料の収集やオープンデータの活用など、国内の動向について調査を行う。	▷	▷	▷			
6	知の創造と循環を生み出す公共の場	(1) 博物館など関係機関との連携の推進	【関係機関と連携した事業の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等と連携して、展示、講座等を実施する。 ・関係機関が実施する講座等へ、職員を講師として派遣する。	▶	▶	▶	連携事業の実施回数	15	13
			【関係機関との連絡調整会議の実施】 ・博物館や文書館、さわやかちば県民プラザ等関係機関との情報共有を進める。	▶	▶	▶			
	(2) 図書館利用が困難な人々へのサービスの充実	【障害者用コンテンツの充実】 ・点訳絵本、録音図書、テキストデータ等の作成を進める。 ・サビエ図書館や国立国会図書館等と連携し、所蔵資料の書誌登録や作成データの提供を推進する。	▶	▶	▶	障害者サービス・多文化サービス関連のコンテンツの作成数	25	32	
		【障害者サービスの普及】 ・県内図書館向け研修や県民向け講座等を充実する。 ・遠隔対面朗読等インターネット等を活用したサービスや県内図書館等との連携を強化する。	▶	▶	▶				
		【新しいサービスの研究開発】 ・多言語・多文化社会や発達障害者への対応など新しいサービスの研究開発を進める。	▷	▷	▷				
	(3) 情報発信機能の強化	【積極的な広報・PRの推進】 ・ホームページやツイッターによる発信に努めるとともに、ブランディングについて研究を進める。	▷	▷	▶	ツイッターの発信件数	360	315	

※令和3～5年度の各年度とも目標値を目指す。

※スケジュール凡例

▷：検討段階

▶：実施段階